

「特別の教科 道徳」子どもが自ら考え、議論する道徳への転換をめざして

佐倉市立寺崎小学校

1 はじめに

本校は佐倉市の南部に位置し、鹿島川をはさんで、四街道市と隣接している。交通は、JR総武本線、国道51号線が縦横に位置している。このため、東京及び成田空港等への通勤圏として、昭和60年代から始まった宅地造成により、昭和62年に開校して創立32年を迎える小学校である。

平成29年度より2か年の研究期間で、印旛地区教育委員会連絡協議会の研究学校の指定を受け、道徳科の研究を進めてきた。今年度は最終年として、11月に公開研究会を行う。ここでは、本校の研究の概要について紹介する。

2 研究概要

(1)研究主題の設定

豊かな心を持ち、共によりよく生きようとする児童の育成
～人との関わり合いを通して～

これからの変化の激しい社会において、子供たちには、人と協調しつつ自律的に社会生活を送ることができるようになるために必要な、人としての実践的な力や、豊かな人間性を養うことが重要である。本校では、特別の教科である道徳を要として、教育活動全体を通じて「人との関わり合い」を大切に、豊かな心を持ち、よりよく生きる児童の育成を目指している。

まず本校の歴史的背景や子供の実態を考慮し、重点内容項目を6つ選び、取り組む

こととした。本校のある根郷地区の教育綱領（大正8年）をひもとき、現代社会で当てはめるとどのようなことになるのか分析した。この地区で昔から大切にされてきた事柄と「人との関わりを大切に心して育てる」ことにぴったり当てはまる6つの項目を選び、重点内容項目とした。重点内容項目は、全体構想で示している。



(2)研究仮説の設定

<仮説1> 人との関わりを大切に活動を実践していけば、共に学ぶ楽しさや自己の成長に気付き、自己有用感や自己肯定感が育つであろう。

<仮説1に対する主な手だて>

○なかよしコーナー

様々な活動の中で、人との関わり合いの視点で自分の思いや、友達と関わって心が温かくなったことを紹介する。



○なかよしアンケート

自己肯定感や自己有用感に関するアンケートを継続して取り、児童の変容を知る。

○家庭や地域との連携

- ・学校便りや学年便りを通して保護者に啓発
- ・地域の方との交流活動や学習活動

<仮説2> 人との関わりを大切にした学習の場を工夫すれば、人を思いやる心や自尊感情が高まり、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度が育つであろう。

<仮説2に対する主な手だて>

○考え、議論する道徳授業の工夫

問題解決的な学習、体験的な問題解決的な学習、体験的な活動など多様な指導方法の工夫をする。

読み物道徳（登場人物の心情理解に終始する）から**考える道徳**（自分との関わりで道徳的価値を考える）に転換する。そのため、授業展開では、以下の点に気をつけて行う。

導入	<p>※価値へと迫れる導入になるように時間を十分に取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時に考えさせたい価値の確認をする。 ・導入段階での自分の考えを確認させる。（自分たちの実態をグラフや表に表したのものや、写真などを活用） ・価値に対するそれぞれの考えを持たせる。（ウェビング等の思考ツールを活用）
展開	<p>※登場人物の心情理解に終始せず、自分の問題として価値について考えさせる。</p> <p>※一人一人が意見を述べる場を設定し、自分の考えや意見を必ずもつようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの話し合い

	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループでの話し合い <p>※自分の考えが表層的なものにならないように、「なぜそう思うか」理由や根拠をもたせる。</p> <p>※全体での話し合いで、価値についての考えを改めて問い、導入での考えと比較させる。</p>
終末	<p>※価値について自分の行動や考えについて振り返り、これからの自分について考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳ノート

○道徳ノートの活用

低学年は、自分への振り返り（価値に迫った）をさせ、ワークシートを道徳ノートに貼り、ファイリングしていく。

中学年は、価値に対する自分の考え、自分への振り返りを中心に、道徳ノートに記載させていく。3年生の初めはワークシートを活用するが、4年生までには道徳ノートを活用できることを目指す。



高学年児童ノート

高学年は、価値に対する自分の考え、友達の考え、自分への振り返りを中心に、自分なりの道徳ノートが作れるようにする。

3 おわりに

今後も、子供が自ら考え、議論する道徳へ転換すべく、研究を重ねていきたい。

